



# 東京都日野市

日野市神明1-12-1  
 担当課：健康福祉部セーフティネットコールセンター  
 〒191-8686  
 ☎042-585-1111 FAX042-583-4198  
<http://www.city.hino.lg.jp/>  
 Eメール：s-net@city.hino.lg.jp

## 本市のデータ

(1)面積 27.55km<sup>2</sup> (2019.1.1)

(2)人口 (人)

35国調	17国調	22国調	27国調	2019.9.1住基
43,394	176,538	179,464	186,283	186,224
65歳以上人口比率				24.5%

(3)世帯数

35国調	17国調	22国調	27国調	2019.9.1住基
10,451	77,447	81,286	84,928	89,477

(4)沿革

昭和38年市制施行



## 本市の概要

都心から西に35km、東京都のほぼ中心部に位置し、多摩川と浅川の清流に恵まれ、湧水を含む台地と緑豊かな丘陵をもつまち、それが私たちのまち日野です。

昭和38年に人口5万人で市政を施行し、現在の人口は18万人を超えています。

昭和の初めからは大企業の誘致により工業都市の顔も加えます。戦後は多摩平など大規模団地の進出があり、首都圏の住宅都市として今日に至っています。

また日野は「新選組のふるさと」でもあります。土方歳三や井上源三郎が生まれ育ったほか、彼らの活動を支えた名主の佐藤彦五郎の屋敷(日野宿本陣)が残されており、例年5月には「ひの新選組まつり」も開催されています。ぜひ日野のまちを歩いてみてください。

## 支援に向けての取り組み状況

### <対策の方針・目標>

平成23年4月「日野市自殺総合対策推進条例」施行。  
 市区町村が定める自殺対策条例としては、都内では初、全国的には神奈川県平塚市に続いて2例目となる。  
 本条例が目的として定める「ともに支え合う地域社会」の実現に向けて、地域自殺対策強化交付金を活用しながら、各種自殺対策に取り組んでいる。  
 平成27年3月 日野市自殺総合対策基本計画策定  
 平成31年3月 日野市自殺総合対策基本計画 改訂版策定



### <具体的な取り組み>

平成21年度

① <新規>条例検討

H21.7月 検討委員会発足(14名:有識者、支援者、自死遺族、公募市民他) 21年度は4回開催。

平成22年度

① <継続>条例検討

検討委員会での議論、パブリックコメントを経て3月議会へ上程。→全会一致で可決・H23.4.1施行

② <新規>わかち合い (H22. 8月~)

年間4回実施し、21名の参加。

③ <新規>シンポジウム (H22. 11月)

内容:自死遺族の声、条例をテーマとしたパネルディスカッション

④ <新規>職員研修 (H23. 2月)

対象:市長、副市長、教育長、市議会議員、市職員管理職(課長補佐職以上)

＜具体的な取組み＞	
平成 2 3 年度	① 日野市自殺総合対策推進条例（平成23年4月1日施行） 全国で2番目の自殺対策条例（市長提案としては全国初の条例）
	② <新規>ネットワーク構築のための調査研究委託（H23.5月～）明星大学委託事業 無作為抽出3,000人の市民アンケートの他、学校や職場、民生委員等へアンケートを実施。
	③ <継続>わかち合い（H23.4月～） 年間6回実施し、24名の参加。
	④ <継続>シンポジウム（H23.12月） H22年度1回開催→H23年度は4回開催へ（定員30名程度の小規模型）
	⑤ <継続>職員研修（H24.3月） H22年度のトップセミナーから、23年度からは窓口業務に携わる一般職員を対象。
平成 2 4 年度	① <継続>わかち合い（H24.4月～）年12回・原則毎月第4日曜開催 年間12回実施し、40名の参加。
	② <継続>シンポジウム（H25.3月） 「生きづらさを抱えた若者からの発信～大人はどう応えるのか？」をテーマに若者の自殺について議論。
	③ <継続>職員研修（H25.3月） 講師：南部節子氏（自死遺族）、松平一美氏（NPO東京多摩いのちの電話理事長）
平成 2 5 年度	① <継続>わかち合い 年12回・原則毎月第4日曜開催 年間12回実施し、41名の参加。（近隣市との連携を検討）
	② <継続>市民啓発事業（講演会H26.3月） 「アルコール問題とうつ、自殺」 講師：松本俊彦 氏
	③ <継続>職員研修（H26.3月） 講師：南部節子氏（自死遺族）、本村雄一氏（地域包括支援センター あいりん代表）
平成 2 6 年度	① 基本計画策定 平成27年3月 策定（平成27年度～自殺総合対策推進委員会）
	② <継続>日野市・多摩市わかち合いの会 年12回・原則毎月第4日曜開催 年間12回実施（多摩市との広域連携事業）
	③ <継続>市民啓発事業（講演会H27.2月） 「危険ドラッグはなぜ、危険なのか～その恐ろしさと回復のヒント」 講師：松本俊彦 氏
	④ <継続>職員研修（H27.2月） 講師：南部節子氏（自死遺族）、杉本脩子氏（NPO全国自死遺族総合支援センター代表）
	⑤ <新規>自殺対策啓発事業（市内中学校で生徒、保護者等対象） 「いのちの学校」市内3校で開催 命の大切さを深く感じ考える展示会及び講演会
平成 2 7 年度	① <新規>自殺総合対策推進委員会（委員数 19名） 平成27年11月 設置
	② <継続>日野市・多摩市わかち合いの会 年12回・原則毎月第4日曜開催
	③ <継続>市民啓発事業（講演会H27.10月） 「自分を傷つけずにはいられない～若者の自殺予防のためのヒント～」 講師：松本俊彦 氏
	④ <継続>職員研修（H28.1月） 講師：清水康之氏（NPO自殺対策支援センターライフリンク代表）、大学生（自死遺族）
	⑤ <継続>自殺対策啓発事業（市内中学校3校で生徒、保護者等対象） 「いのちの学校」市内3校で開催 命の大切さを深く感じ考える展示会及び講演会
平成 2 8 年度	① <継続>自殺総合対策推進委員会（委員数 19名） 年2回開催
	② <継続>日野市・多摩市わかち合いの会 年12回・原則毎月第4日曜開催（さらなる広域連携検討）
	③ <継続>市民啓発事業（講演会） 「苦しみは喜びをつくる～ハンセン病と共に75年」 講師：平沢保治
	④ <継続>職員研修（H29.2月） 講師：村 明子（NPO国際ビフレンダース 東京自殺防止センター）
	⑤ <継続>自殺対策啓発事業（市内中学校3校で生徒、保護者等対象に開催） 「いのちの学校」命の大切さを深く感じ考える展示会及び講演会（市内すべての中学校で開催済）
平成 2 9 年度	① <継続>自殺総合対策推進委員会（委員数 19名） 年2回開催
	② <継続>日野市・多摩市わかち合いの会 年12回・原則毎月第4日曜開催（さらなる広域連携検討）
	③ <継続>市民啓発事業（講演会） 「こころの力を引き出すヒント」 講師：大野 裕
	④ 職員研修（H30.10月） 講師：根岸 親氏（NPO自殺対策支援センターライフリンク副代表） <継続>職員研修（H30.11月） 講師：村 明子（NPO国際ビフレンダース 東京自殺防止センター）
	⑤ <継続>自殺対策啓発事業（市内中学校3校で生徒、保護者等対象に開催） 「いのちの学校」命の大切さを深く感じ考える展示会及び講演会（市内すべての中学校で開催済）
平成 3 0 年度	① <継続>自殺総合対策推進委員会（委員数 19名） 年3回開催
	② <継続>日野市・多摩市わかち合いの会 年12回・原則毎月第4日曜開催（さらなる広域連携検討）
	③ <継続>市民啓発事業（講演会） 「ストレスを味方にする4つのステップ」 講師：大野 裕
	④ 職員研修（H30.10月） 講師：根岸 親氏（NPO自殺対策支援センターライフリンク副代表） <継続>職員研修（H30.11月） 講師：村 明子（NPO国際ビフレンダース 東京自殺防止センター）
	⑤ <継続>自殺対策啓発事業（市内中学校3校で生徒、保護者等対象に開催） 「いのちの学校」命の大切さを深く感じ考える展示会及び講演会（市内すべての中学校で開催済）